

## 統合スキルとしての聞く力の育成

～シャドーイングと統合的リスニングタスクを通して～

長岡市立南中学校

氏名 春川 千尋 (22年度)

学習指導要領では「聞くこと」の言語活動について、「簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動」や「会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動」と、「聞くこと」を踏まえた反応の姿までが「聞くこと」の範疇として示されている。このことから、技能の統合的な活動により、「聞くこと」と他技能を有機的に関連させて指導し、統合スキルとしての聞く力の育成が求められている。対象生徒へのアンケートからは、4技能の中で「聞くこと」に対して最も多くの生徒が苦手意識をもっていることが分かった。

統合スキルとしての聞く力を育成していくための手立てとして、シャドーイングと統合的リスニングタスクを用いることとした。シャドーイングとは、まとまった英文を聞きながら同時に音声化することであり、音と意味を瞬間的に結び付ける力を育むトレーニングである。シャドーイングトレーニングの直後に、アウトプットを伴った統合的リスニングタスクを課す。統合的リスニングタスクとは、聞き取った内容から、目的・場面・状況に応じて即興的に「話すこと」や「書くこと」を組織したタスクである。日本語を介在する余裕を与えず、「見方・考え方」を働かせ、その場でアウトプットをさせることをねらう。シャドーイングと統合的リスニングタスクを組み合わせることで、統合スキルとしての聞く力の育成を図る。